

額。

国の経済対策として、臨時福祉給付金費220万3千円の増額。非課税者に平成29年2月3日から給付開始予定。

問 保育士1名が退職して、職員が不足している。来年度の園児募集で、未満児の応募が定員の倍近くになった現状を踏まえて、保育士の増員や施設の改修の増額の補正をすべきでは。

答 未満児の応募は、今年度予想以上であったので今後の検討になる。

その他で、保育園での園児に対する対応の質疑があり、課長・園長に調査し、後日報告してもらうこととした。

◎教育委員会関係教育課所管

白馬高校支援事業で、寮・公営塾の燃料費に203万7千円の増額。清算による過年度小谷村負担金返還金として181万4千円。学校給食共同調理場建設用地購入費に110万円の減額、幼稚園就園奨励費補助金は、対象園児減少により220万円の減額。白馬中学校大規模改修に1億2710万5千円の増額、国の前倒し補正を申請し、事業は来年度へ繰越。準要保護児童援助費21万7千円の増

額は、白馬北小学校の来年度の新入学生5名分。南小学校と中学校は後日決定。

問 白馬高校燃料費は、当初予算で見込まなかったのか。

答 寮として毎日使っているので、燃料がかかっている。今後対応を考えたい。

反対討論

保育園と道の駅事業の補正予算がされていないのは、片手落ちである。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定

●陳情 第10号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について

意見

議員年金も廃止されていることから、若い議員のためにも必要である。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定

産業経済委員会

●白馬村農業委員会に関する条例の一部を改正する条例

農業委員会に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の選出

産業経済

新たに農地利用最適化推進委員2名
農業委員会に関する条例の改正

方法の変更による委員の定数及び新たに設置する農地利用最適化推進委員の定数について所要の改正を行うもの。農業委員12名は、選挙から村長任命となる。農地利用最適化推進委員2名が任命され、農地中間管理機構と連携する。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

●平成28年度白馬村一般会計補正予算（第4号）

◎農政課関係

農業基盤整備促進事業1千万円の減額は、落倉の水路改修工事を予定したが、地元との調整などで、今年度の事業を見合わせるもの。台風16号被害の復旧費に585万2千円、農地等5カ所で、飯田、三日市場、内山など。

◎建設課関係

村道改良国庫補助事業4430万円は、村内トンネル、橋梁等補修を行うもの。住宅建設費5705万3千円の減額は、村営住宅完成に伴う精算。

問 村営住宅精算は最終か。

答 雨どい、雪囲い、ユーテシなどの追加工事をして最終精算になり、全体で4億9000万円程度。

◎観光課関係

北アルプス3市村観光連絡負担金349万9千円は、フリーゲートシステムが今シーズンから共用開始、併せてウェブでICカードチケットの購入システム構築の整備費のうち白馬村の負担金。

◎上下水道課関係

下水道事業特別会計繰り出し金1170万4千円は、消費税額の増額等。

反対討論

人事院勧告は正規職員との格差が広がることになる。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定

●平成28年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ1170万4千円を追加し、予算の総額を7億7158万1円とするもの。消費税及び地方消費税711万円は、当初予算より増額になったもの。管渠維持管理事業

150万2千円は村道にあるマンホールの高さ調整によるもの。▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定

●平成28年度白馬村水道事業会計補正予算（第3号）

営業収益170万円の増額は、新規加入金の追加。排水及び給水費170万円の増額は、冬季工事見込むもの。

▽委員多数の賛成により可決すべきものと決定

●飯森圃場内の農道整備に関する請願

問 飯森地区懇談会においてかねてからの要望があったと思うが、行政の対応は。

答 穴埋めなど、その都度対応してきた。農道の舗装基準は薄いので壊れやすい、農政課とすれば村道に移管し、村道の改良リストに入れる対応を希望する。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定

●免税軽油制度の継続を求める請願

意見

白馬村として廃止になれば農業や特に観光産業に大きな影響があるので継続していただきたい。▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定